

2015

北いわての魅力を伝える広報誌

北いわてで最前線



特集
1

地元愛で輝く！ 北いわて新時代



特集
2

北いわてを中心に
盛り上がりをもせる縫製業

アパレルの聖地 北いわて

トピックス

はぐく いっしょに育む 希望郷いわて

ゆたかさ・つながり・ひと



おもてなし

希望郷いわて国体・ 希望郷いわて大会を 成功させよう

特集
1

地元愛で
輝く!

北いわて

新時代

地域にはそれぞれ「強み」と「可能性」が秘められています。しかし、地元の良さを発信するには、地域で暮らし、地域の良さをよく知っている人々の知識と力、そして新たな視点が必要です。北いわてでも地域活性化のため、地元で働く若者や女性たちが立ち上がり、若者や女性の活躍する場を確立するため、活動しているグループがあります。



北三陸じえし会

女性目線『じえし(女子)力』で、地域の魅力の掘り起し



北三陸のいいところを見つけます!



(上)『あまちゃん』効果の久慈人気。ドラマの続きがここにある…そんな、地域盛り上げ隊がじえし会です。
(右)地域の魅力を発信する北三陸じえし会(「中野にぎわいフェスタ」東京都)。

代表 成田 敦子 さん

地域社会を成長させるには女性の力が必要と言われます。そんな、女子力を間近に見て感じることで、さまざまな団体があつちやります。昨年9月に発足した北三陸

そうした思いの中、観光や文化など地域の魅力を女性の視点から見つめ直して発信することを目的



東京・中野区で開催された「中野にぎわいフェスタ」では若い人に親しんでもらおうとの提案でデザインされた琥珀アクセサリーをはじめ、新たな魅力が吹き込まれた品々が並びました。

活動テーマ「女性が美しく暮らし、女性が美しく暮らす土地」の実践には、日常の暮らしや体験の中から何かを見つけて出す、「女性目線」が必要です。成田さんは「例えば肌をきれいにする久慈地域の名湯に気づいたなら、それを誰が喜んでくれるかを考えて、地域の魅力発信につなげることが必要」と指摘します。じえし会の活動は、普段の暮らしがベースということ。北三陸の未来を紡いでいくのは、女性ならではの切り込みで、楽しみながらすすまわすべし、



北の海人養成塾

浜の仕事の体験で、漁業への関心が高まる



漁業の面白さを学びます

(上)第一期塾生は、久慈東高校2、3年生合わせて20人。
(右)久慈東高校の養成塾は真剣勝負。
(下)ワカメはパッケージのシールデザインも担当。直売会で完売。



久慈東高校(3年生) 播磨 竜太郎 さん

ウニやアワビ漁が盛んな久慈地域。「北限の海女」で知られる久慈市や、洋野町では県内でも珍しい素もぐり漁が行われています。が、漁業の担い手不足が深刻な課題となっているのが現状です。

そこでスタートしたのが「北の海人養成塾」。地元の高校生に漁業への関心を持ってもらおうと、今年の4月から久慈東高校の授業の一環とし



て実施されています。塾生は、同校海洋科学系列の2、3年生の計20人。海の近くに住み、子供の頃から海に親しんできた生徒たちも、浜の仕事はほとんどが初めて。天然ワカメの採取やボイル塩蔵加工、ウニの殻むき・瓶詰など浜の仕事の大変さと楽しさを学びました。3年生の播磨竜太郎さんは、「自分たちが作ったものを美味しいと言ってもらえたのが嬉しかった。海産物にはこんなに人の手がかかっていたことを知って、なくてはならない仕事だと実感した。地元の漁師さんから直に学べるこの試みは漁師を目指すきっかけになり、素晴らしいと思う」と話してくれました。2年目の来年は潜水実習が組み込まれる予定で、浜の仕事を体験した若者たちが漁業の担い手として活躍することが期待されます。

じえし会です。

北三陸の『じえし（女子）』で思い浮かぶのはNHK連続テレビ小説『あまちゃん』。代表の成田敦子さんは、『あまちゃん』の放送で、地域は全国的に有名になりました。けれども一時のブームで終わらせてはいけません！

に久慈青年会議所と県北広域振興局の呼びかけで結成されました」と設立の経緯を話します。はじめは面識のない「仲間」に戸惑ったという成田さんですが、同じ志を持つじえし（女子）同士、意気投合するのには時間はかからなかったと言います。

ひとつづつに力がかかる『じえし力』です。



一人ひとりが頑張っているものをつなげる。横の連携を大事にしたまち&ひとつづつ（いわて若者会議）。



牛飼いな女子 ミルクレディース

女性の元気で産地を元気に！ 楽しんで広がる女性の活躍の場



酪農経営を女性の視点から！



(上) 平間牧場（一関市）への先進地研修での記念撮影。
(下) 後継者も育ち、理想的な酪農経営を実践する堤内さん。

などの行事に参加できないという悩みがありました。そうした声から昭和62年3月に牛飼いな女子グループ「ミルクレディース」（JA新いわてくじ酪農生産部会女性部）が設立されました。女性の視点を生かした経営参画の推進と若い女性の就農促進を目的に始められたこの「牛飼いな女子」は、技術研修会や他業種地域女性グループとの交流会、手塩にかけて育てた牛たちの牛乳、乳製品のPR、小学生を対象とした酪

農出前授業などさまざまな活動を行っています。

今年も遠方にも足をのばし、先進地研修会を実現。部長の堤内ひろみさんは「酪農家の女性が家を空けることはなかなか簡単ではないけれど、酪農ヘルパーの活用や家族の理解を得ながら積極的に外に出る時間を作って、若い女性たちが元気で活躍できる場を広げていければと思っています」と話してくれました。堤内さんを中心に、ミルクレディースは、次世代の牛飼いな女子の育成にも力を注ぎ、北いわての酪農を引っ張っています。

酪農家にとって牛は家族の一員。特に女性たちにとっては、家を空けることが難しく、地域活動



部長 堤内 ひろみさん

た経営参画の推進と若い女性の就農促進を目的に始められたこの「牛飼いな女子」は、技術研修会や他業種地域女性グループとの交流会、手塩にかけて育てた牛たちの牛乳、乳製品のPR、小学生を対象とした酪



野菜農家や漁家の女性たちとのスイーツ作り交流会。

カシオペア 若者定住事業

若い力が考えたらこうなる！ カシオペア地域交流事業



若者の地域活性化に力をつける思い、伝えます



(上) 交流イベントの開催に向け、企画を出し合う若者たち。
(右) 馬淵川河川敷に約100人集結。「MBQ（マーベキュー）」は参加者の共感を得て大盛況でした。
(下) おいしそうに焼けてきたぞ。



ミンクのユニークさでも惹きつけた馬淵川河川敷でのバーベキューイベント「MBQ（マーベキュー）」。「青空のもと地元ブランド鶏肉や短角牛、佐助豚、そして若手農家が育てた野菜を振る舞う交流が行われました。

事務局長の福原直樹さんは「若者が少ないというよりも、外にあまり出たがらない」と地元若者を分析。気軽に交流できる場づくりが必要と考え、ワークショップや地域で活躍している若者を紹介するFM放送などを行い、情報を発信しています。



事務局長 福原 直樹さん

交流イベントの第一弾として今年8月に開催されたのが、ネー

「高校生頃は開いていた店のシャッターが下りている。寂しいですね。若い人たちが引っ張る二戸にしたい」と話す福原さん。それぞれが地域を活性化させる一人になることを願っています。

アパレルの聖地

北いわて

特集
2

北いわてはアパレルの聖地だ。思わず「そうなの!?!」と驚いてしまいそうなキャッチコピーで始まった、北いわて学生デザインファッションショー。高い技術を誇る縫製事業者が集積する北いわては、まさにアパレルの聖地。
ファッションショー開催から始まった北いわてアパレルの取組は、今、新たなステージに入ろうとしています。



第2回(2014年)「北いわて学生デザインファッションショー」の様子。プロのモデルを使っのファッションショーは、会場を大いにわかせました。



取引先の拡大を目指して行われた「いわてアパレル企業ビジネスマッチングフォーラム in TOKYO」。発注側は41社、受注側は16社(うち北いわては9社)が参加。今年は初めて東京での開催となりました。

北いわてを中心に 盛り上がりをもせる縫製業



高級ブランド婦人服、紳士服、ユラオーム、子供服など、多種多様な縫製工場が集まる北いわて

久慈市や三戸市を中心とする北いわては、約30社の縫製工場が集まる、いわば日本の縫製王国。

流行の最先端をゆく高級ブランドを手がける工場が数多くあり、さらには肌着や水着、パジャマ、スポーツウェアや武道着など、実に多種多様な縫製工場が集まっています。

それだけではありません。デザインをカタチにする高い縫製技術だけではなく、検針はもちろん、糸くず一つ残さない徹底した品質管理。これまで培ってきたノウハウに、新たな視点やアイデアを加える積極性。そんな真摯な「モノづくり」の姿勢こそ、北いわての縫製業の大きな強み。北いわてが「メイドインジャパン」の一翼を担っていると

いつでも過言ではありません。

それを支えるのが優れた技能を持つ社員皆さん。さらに最新機器やIT技術の導入など、独自の生産ラインを組み立てて効率化を図ったりしながら、多様なニーズに対応しています。

一般社団法人 北いわてアパレル 産業振興会が発足

今年6月、北いわてに拠点を置く16社の縫製事業者による「一般社団法人北いわてアパレル産業振興会」が発足しました。

この会は、関連企業と行政ほか関係支援機関が一体となって、北いわてのアパレルを盛り立てようと設立されたもの。縫製業のイメージアップや取引の拡大、また次代の人材育成に向けて、さまざまな活動を始めています。

初代代表理事に就任したのは「岩手モリヤ株式会社」(久慈市)の森奥信孝社長。

森奥代表によると、これまで中国などでコスト重視による海外生産をしてきたアパレルも、最近では、差別化を図った、より高付加価値なモノづくりをするため、日本での生産に戻すケースが増えてきたそう。

「そんな今だからこそ、『北いわて』として連携を強めることが大事。個々の工場だけではできな

いことも、会社の枠を超え、手を携えればできることがある。縫製工場としての機能はしっかり維持しつつ、オリジナルブランドなどの開発もしていきたい」と話します。

ファッションショーで 人材発掘、人材育成

振興会の主な活動の一つに「北いわて学生デザインファッションショー」があります。

これは県内で学ぶ学生から、実用的で製品化が可能な洋服のデザインを募り、入賞作品を実際に製作。その作品をプロのモデルがファッションショーという形で華やかに披露する、ユニークな取組です。

実はこのショーは、これまで県北広域振興局の主催で行われていたもの。新しい才能の発掘に力を入れると共に、若い人たちにも地元の縫製業を広くアピールしようと、今年度から振興会が引き継ぐ形で実施しています。

今年度の応募総数は約3000点。初開催時に比べると応募数



縫製の仕事に携わっているのはほとんどが女性。流れるようなスピードで針を進めます。

Voice 1

北いわての活性化を握る鍵は、人材育成

一般社団法人北いわてアパレル産業振興会 代表理事
森奥 信孝 さん (岩手モリヤ株式会社 社長)

北いわての縫製工場働く人は真面目で、技術力の高さは定評があります。私の会社でも、国家検定洋裁技能士一級、二級の資格を持つ社員がたくさんおり、今年度も8名が受験します。学校を卒業して全くの未経験で会社に入社してから技術を磨き、皆、優秀な技術者に育っています。縫製の仕事はとても地味な仕事です。しかし確実に服をつくる技術が身につく、日本の繊維・ファッション産業を支えるという大きな役割を果たす仕事です。

大事なものは人材。人を育て、そして、その人材を北いわてに定着させること。そのために、振興会としても活動していきたいと思っています。



Voice 2

受賞がきっかけで、よりデザインに興味を持つようになりました

「北いわて学生デザインファッションショー」第2回(2014年) 最優秀賞受賞
渡辺 敦也 さん

デザイン画を描いたのは実は昨年の応募の時が初めて。自分のデザイン通りに仕立てられた服がショーで披露された時は、恥ずかしかったけれど、すごく嬉しかったです。

子供の頃からファッションが好きでしたが、受賞がきっかけで、よりデザインに興味を持つようになりましたね。今は販売より、モノを作る仕事がしたい。まず東京で勉強して、いずれ岩手から自分なりのデザインを発信するのが夢です。



「盛岡カレッジオブビジネス」でアパレルの販売や接客を学んでいた渡辺さんが、最優秀賞を受賞した作品。北上川をイメージした青を袖の色に用いるなど、岩手をモチーフにした爽やかなデザイン。



第3回学生ファッションデザイン応募作品 地元・北いわての学生デザインが 4点入賞しました。



〈優秀賞〉
遠藤 朋子 さん
「ガーリースタイル」
(県立戸高校3年)

〈優秀賞〉
下新井田 桜 さん
「リアス」
(県立久慈東高校2年)

〈奨励賞〉
下澤 奈々花 さん
「TAMAGO」
(県立伊保内高校2年)

〈奨励賞〉
白當 綾乃 さん
「スターライト・ドレス」
(県立久慈高校2年)

NEXT

第3回北いわて学生デザインファッションショー 開催
日時・会場 / 平成28年2月28日(日) 13:30開演予定
二戸市民文化会館大ホール

が3倍に増えており、回を重ねるごとに注目が高まっています。

今年度ファッションショー 来年2月28日に開催

今年度のファッションショーは、

来年2月28日(日)、二戸市民文化会館大ホールでの開催が予定されており、優秀賞デザイン10点の製作が着々と進められています。平面的なデザインを、立体的で、しかも身体にジャストフィットする服に仕立てるには技術がモノをいいますが、そこが腕の見せ所。北いわてならではの高い技術力により、若者たちの斬新なデザインを、きつと素敵に一着に仕上げてくれるにちがいません。

地域を元気にするには、次代を担う若者自身がワクワクする仕掛けも必要です。取組を重ねていけば、地元での就業・定着はもろもろのこと、北いわてから日本を代表するようなデザイナーが生まれるかも知れない…。そんな期待も広がります。

県北エリアの活性化に 文化学園との連携を提携

岩手県は、日本のファッション教育の中心的な役割を担っている東京の「文化学園」と、今年7月、本県のアパレル産業振興を目的とした連携協定を結びました。



ファッションを通して北いわてを活性化しようという連携協定を結んだ、県の達増知事(右)と「学校法人文化学園」の大沼理事長(左)。文化学園には学生デザイン審査などで協力いただいております。

文化学園は、世界23カ国45校による国際ファッション工科大学連盟の国内唯一の加盟校。運営する学校の一つ「文化服装学院」から、山本耀司、「シノヒロ」など、多くの著名デザイナーを輩出していることでも知られています。

ブランド化や人材育成などに大きな実績をもつ文化学園と、北いわての優れた縫製技術。この両者が連携していけば、北いわてのアパレル界に新しい風が吹き込むことでしょう。

また、これまで二戸市で行われてきた「いわてアパレル企業ビジネスマッチングフォーラム」を、今年初めて東京で行うなど、取引先の拡大にも積極的に取り組んでいます。

「メーカー側も実力のある工場を本気で求めていると実感した」と、フォーラムに参加した手応えを話す森奥代表。北いわてのアパレルが元気になるれば、北いわて全体がもっともつと元気になる。そう信じて、さまざま取組が進められています。

県北広域
トピックス
2015

いっしょに

はぐく

育む

[ゆたかさ・つながり・ひと]

希望郷いわて

「いわて県民計画」に基づいて
岩手県民の暮らしを守り、高める、
大切な取組を紹介します。
いずれも県北圏域の暮らしに
役立つ情報ばかり。
みなさん、どうぞご活用ください。

国宝を甦らせる、

「浄法寺漆」を次世代へ。

生産者・二戸市・県が三位一体で進める、

地域資源を育てる取組

日光東照宮をはじめとする全国各地の国宝修理現場で「浄法寺漆」が使われています。接着性に優れる二戸市浄法寺地方の漆は、金箔との相性に優れ、文化財修理には欠かせない存在となっています。漆の国内消費量は年間約40トンですが、そのうちの約97%は輸入漆です。国産漆の生産量は約1トン(約3%)で浄法寺漆はその62%を占めています。(平成25年統計)

二戸市は日本一の漆産地と言えますが、漆を採取する「漆掻き職人」の数は減少傾向で、現在、漆生産組合に所属する職人は25名、うち漆掻きの作業に携わる現役職人は20名です。二戸農林振興センター林務室では、漆林の適正な管理を進める

ため、漆林所有者を対象とした保育管理研修会の開催、手入れ不足の漆林の保育管理経費の助成などを行うほか、一般市民等を対象とした「浄法寺漆の達人を巡るツアー」の開催、市内の食堂等に浄法寺漆器を貸出して漆器を身近に触れて感じてもらう機会を提供するなど、浄法寺漆の普及宣伝などにも努めています。

また県と二戸市では平成20年8月に「浄法寺漆認証制度」を立上げており、ブランド化を進めることで、今後一層、漆掻き職人の方々の生産意欲向上に結び付けようと取り組んでいます。

問合せ先 二戸農林振興センター林務室
電話 019512319204



浄法寺漆の製作工程を二戸市滴生舎で見学(浄法寺漆の達人を巡るツアー)



漆掻きの現場見学の様子(浄法寺漆の達人を巡るツアー)

健康保持に努める

「協働」の輪が広がる。

高血圧・脳卒中など生活習慣病予防のための「適量・適塩・適動」に向けた取組



久慈東高校生と久慈市食生活改善推進員が、スーパーで適塩の呼びかけ



減塩レシピコンテストでグランプリを受賞した「塩加減もあまちゃんて!」久慈地域★かるしおdeアマノミクス定食

岩手県は、平成22年の「脳血管疾患」による年齢調整死亡率が男女とも全国ワーストワンで、県内でも特に久慈地域は男女ともに高い状況でした。その原因の一つとして、塩分の摂り過ぎが挙げられます。(平成24年：全国10.4g/日、岩手県11.8g/日)

そこで、保健福祉環境部では、家庭・学校などにおける高血圧・脳卒中などの生活習慣病を予防・改善するため、「塩加減もあまちゃんて!」をキャッチコピーに、「適量」「一人ひとりにあった必要な食分量と組み合わせ」、「適塩(高血圧予防のため一日の食塩摂取量6g未満とすること)」、「適動(こまめに運動すること)の大切さを強く地域の皆さんに呼びかける活動を行っています。これまで、市町村・食生活改善推進員、飲食店、学校等と協働の輪を広げ、「適量・適塩・適動」についてのイベントやキャンペーン等を実施し、地域の健康意識を着実に高めています。

問合せ先 保健福祉環境部
電話 019415314987

もつと魅力ある産直を目指して 産直運営を見直そう。

運営改善計画をブラッシュアップして
取組状況を検討



「趣味は産直めぐり」と話す人たちが増えています。そんな産直好きの人たちから愛されるように、より魅力ある産直を目指し、農政部と農業改良普及室が連携して、午後の品薄解消や消費者ニーズに対応した産直施設の運営改善を支援しています。

今年度は、外部アドバイザーを招いて各産直で作成した改善計画のブラッシュアップや改善モデル表証指導、産直運営改善検討会などを開催しています。参加している産直は、平成24～26年度に行われた優良な産直を表彰する「北いわて、ガチンコ」産直甲子園」に参加した12産直（久慈地域6・二戸



アドバイザーによる産直の個別指導（「サラダボウル・こずや」―戸町）



産直運営改善計画のブラッシュアップ研修会の様子

地域6産直)です。

改善モデル産直の一つ、野田村のスマイル直売所では、「外部アドバイザーに指導いただくことで普段は気付かないことに気付くことができました。店舗内外の改装や品揃えの充実などにより、お客様に愛される産直に向けて改善が進んでいると手応えを感じています。」と話しています。

今後、改善指導の成果報告会を開催するなど、取組の成果を県北地域の産直全体へ広め、地域全体の盛り上がり貢献していきます。

問合せ先 農政部
電話 0194-531-4983



みんなで乾しいたけをPR！旗やのぼりでお出迎え

みんな、久慈地方の 「乾しいたけ」おいしいよ。

原木乾しいたけの販売促進や
消費拡大に向けた取組



新商品！肉厚でおいしい！
「原木どんこスライス椎茸」



「原木どんこスライス椎茸」を販売！久慈地方産業まつりにて

肉厚で、おいしい！と評価が高い久慈地方の原木乾しいたけ。その品質の良さは、全国乾しいたけ品評会で何度も農林水産大臣賞を受賞するなど、全国的に高く評価されています。消費者のしいたけ離れにより販売量が減少しており、林務部では、生産者と一緒に乾しいたけをもっと知ってもらう取組を進めています。

この夏は、久慈地方の原木乾しいたけを全国の皆さんに知っていただくため、JR東日本(株)盛岡支社などと連携し、盛岡駅構内の飲食店で乾しいたけを使った料理の提供や料理レシピのPRを行うとともに、JR八戸線を走るレストラン

列車「東北エモーション」へのPR活動を行っています。

また、主に市場から県北圏域外に出荷されている乾しいたけを地元で買いたいという声に応えるため、地元森林組合と連携し、肉厚で身のぎっしりつまった「どんこ」をスライスした「原木どんこスライス椎茸」を商品開発し、今年4月から久慈市内スーパーでの販売が開始されました。

うま味がたっぷり体に良い、地元、久慈地方産の「原木乾しいたけ」を是非ご賞味ください。

問合せ先 林務部
電話 0194-531-4984

「津波防災出前授業」で、 子どもたちを守ろう。

久慈地域の防災力向上を目指して、
小・中・高校生等を対象に実施



津波から適切に避難するためには、防潮堤などの津波防災施設の役割を正しく理解することが欠かせません。土木部では、平成26年に「久慈地域における津波防災教育支援・啓発プログラム」を作成し、津波に対する知識と防災力の向上のため、久慈地域に住む小・中・高校生等を対象に「津波防災出前授業」を行っています。

津波防災施設を整備・維持管理する側の視点から、特に、①津波防災施設の効果と限界 ②多重防災型まちづくり(ハード・ソフト対策の融合)の2テーマに重点を置き、過去の津波被害、津波防災施設の役割、避難の重要性などについて、校

舎での座学のほか、実際に施設を見学しながらわかりやすく説明しています。

授業の中で、改めて東日本大震災当時の状況を確認した参加者は驚きの表情を見せ、施設を越える津波が来る可能性もあるとの説明に対しては、「防潮堤があっても安心せずに避難したい」という感想も聞かれました。

今年度は、地域内の小・中・高校生等を対象に16回の開催を計画しており、来年度以降も継続して取り組んでいく予定です。

問合せ先 土木部
電話 0194-531-4990



座学にて被害状況の写真に見入る生徒たち



現地では防潮堤の前で、その役割や避難の大切さを学びます

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を みんなの力で成功させよう!

県北広域の会場で夢と感動の時間を!

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会が近づいてきました。とくに冬季大会はもうすぐ!! 来年の1月から2月にかけて、県内5市で開催され、初日の1月27日(水)と28日(木)には、スケート(ショートトラック)競技が二戸市で行われます。全国各地から北いわてを訪れる選手・役員のみなさまを「おもてなしのこころ」で歓迎して復旧・復興に多くのご支援をいただいている全国のみなさまに感謝の気持ちを伝えましょう。

第71回国民体育大会 2016希望郷 いわて国体 冬季大会 スケート・アイスホッケー競技会



スケート(ショートトラック)競技
日程 平成28年1月27日(水)~28日(木)
会場 岩手県立県北青少年の家スケート場

ショートトラックはフィギュアスケートと同じリンクで行われる競技で、1周111.12mのトラックを集団で滑走する競技です。その中で目まぐるしく順位が入れ替わったり、コースの奪い合いで選手同士が接触したりするなど、とてもスリリングな競技です。また、タイムではなく着順で順位が決まるため、どのタイミングで仕掛けるか、前に出るかなどの駆け引きが重要なポイントとなります。

(公益財団法人日本スケート連盟ホームページより)

冬季国体のデモスポ「カーリング」も観戦しよう!

平成28年2月7日(日) 岩手県立県北青少年の家スケート場

応援よろしくお祈いします!

地元クラブ所属の注目選手

むらたけひろのぶ
村竹啓恒さん
岩手県体育協会
カシオペア氷上スポーツクラブ(二戸市)



平成26年4月から二戸市のカシオペア氷上スポーツクラブに所属。いわて国体後に韓国で行われる2018平昌五輪出場も視野に今後の活躍が期待されます。25歳。

【昨シーズンの戦績】(大会成績)

- 第25回全日本ショートトラック距離別選手権大会 1000m 2位、1500m 9位
- 第27回ユニバーシアード冬季大会国内予選 500m 優勝、1000m 優勝、1500m 7位
- 第70回国民体育大会スケート競技会 500m 4位、1000m 8位
- 2015世界ショートトラック選手権大会 出場
- 第27回ユニバーシアード冬季大会(スペイン・グラナダ) 500m 5位、1000m 4位、5000mリレー 4位
- 第37回全日本ショートトラック選手権大会 500m 4位、1000m 2位、1500m 7位、3000m 5位、総合 5位
- ワールドカップ第1~3戦 出場

【今シーズンの戦績】(大会成績)

- 第26回全日本ショートトラック距離別選手権大会 500m 2位、1000m 3位
- ワールドカップ第1~2戦 出場

冬季大会迫る!
歓迎・応援を
楽しもう。

きれいなまちで
歓迎しましょう

ゴミのない、きれいなまちで
お迎えしましょう



まちの「魅力」を学び、
伝えましょう

自分のまちの魅力を勉強して、
どんどんPRしましょう



あいさつ・笑顔で
交流しましょう

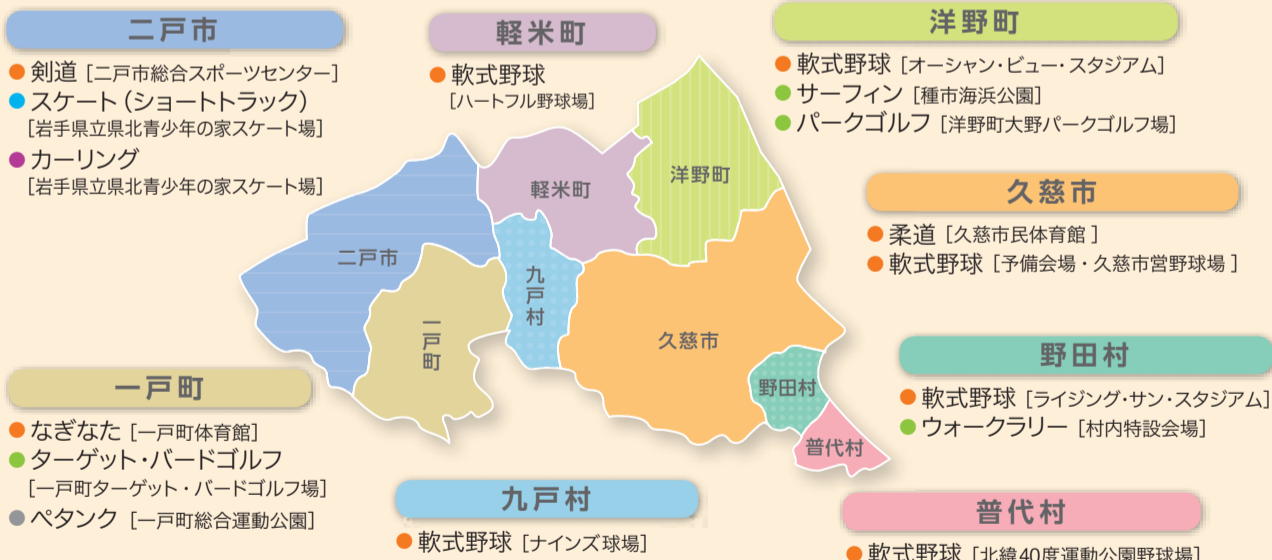
はずかしがらずに、
こちらから声をかけましょう



開催競技種目と会場

※平成27年10月1日現在

- 希望郷いわて国体 (本体会)正式競技
- 希望郷いわて国体 デモンストレーションスポーツ
- 希望郷いわて国体 (冬季大会)正式競技
- 希望郷いわて国体 (冬季大会)デモンストレーションスポーツ
- 希望郷いわて大会 オープン競技



2016 希望郷 いわて国体

第16回全国障害者スポーツ大会

2016 希望郷 いわて大会

冬季大会

スケート・アイスホッケー競技会
平成28年1月27日(水)~31日(日)
スキージャンプ競技会
平成28年2月20日(土)~23日(火)

本大会

平成28年10月1日(土)~11日(火)
[水泳競技は平成28年9月4日(日)~11日(日)]

平成28年10月22日(土)~24日(月)

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

岩手県 県北広域振興局全世帯配布広報誌 (平成27年12月1日発行)

